

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和4年（2022年）10月11日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名）石谷 舞

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 豊かな自然を活かし、快適で安らぎのあるまちづくり
	【具体的な取り組み】 (2) きずきの森の活用 ア 住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備
取組内容の関係課	政策室 公園河川課 スポーツ振興課

2 対話の状況

(1) 実施概要

ア 日時： 令和4年（2022年）10月7日（金） 10：00～11：45

イ 場所： 宝塚市立中央公民館 205学習室

ウ 出席者： 以下のとおり

＜まちづくり協議会＞



＜関係課＞

政策室 田外課長

公園河川課 濱田課長

スポーツ振興課 中村課長

＜協働の取組推進担当次長＞

藤田次長

＜市民協働推進課＞

岡田係長

石谷

(2) 確認できたこと

ア. 市の担当課から、次の内容について、まち協へ情報共有を行った。

アクセス道路整備予定地の一部にある民有地について、土地の地権者（2権者）から買収することで理解いただいているが、買収用地確定のために必要な筆界確認について、隣接する土地の地権者からの同意を得られておらず、実施できないため、買収が進んでいない状態であること。用地買収以外の方法については、予算や環境保全の面から、実施困難であること。なお、用地買収の目的のひとつは、花屋敷グラウンド等の利用者が、民有地を通行している状況を是正するためであること。（政策室）

イ. まち協から市に対し質問のあった次の内容について、市の担当課より回答を行った。

（ア）原案を成案化する今後のスケジュールをどのように予定しているか

⇒花屋敷グラウンド周辺整備基本構想（案）は原案であり、成案化する場合は、平成26年度の原案作成時から、きずきの森の整備内容の変化、社会的なニーズの変化、時代の流れ（民間活力の導入）や周辺住民からの様々な要望等があるため、現状に即した内容に見直す手続きが必要であると考えていることから、今は成案化を行うタイミングではないと考えている。（政策室）

（イ）駐車場の計画台数で原案では211台としている。この必要台数の中に宝塚医療大学の92台の利用がある。貸借の交渉はしているか、駐車場の全体計画は現在どのように進んでいるか

⇒（ア）の回答と関連して、花屋敷グラウンド周辺整備基本構想（案）の中にある、宝塚医療大学との駐車場の利用に関する調整等については、現状では行う予定はない。（政策室）

きずきの森の駐車場整備を48台分（北駐車場25台、高台駐車場20台、みはらし台駐車場（身障者用駐車場）3台）実施し、平成29年度に計算した公園の来場想定数に対する必要台数は、確保できる予定である。（公園河川課）

ウ. まち協は統一的な考えとして、①花屋敷荘園住民の安全、②きずきの森の自然保全、③きずきの森利用者の安全の3点を守ることにある。特に花屋敷荘園側の車両通行について、住民は不安や危険を感じているため、早急に危険を取り除いてほしいと要望された。

（ア）きずきの森内の一般車両の通行禁止

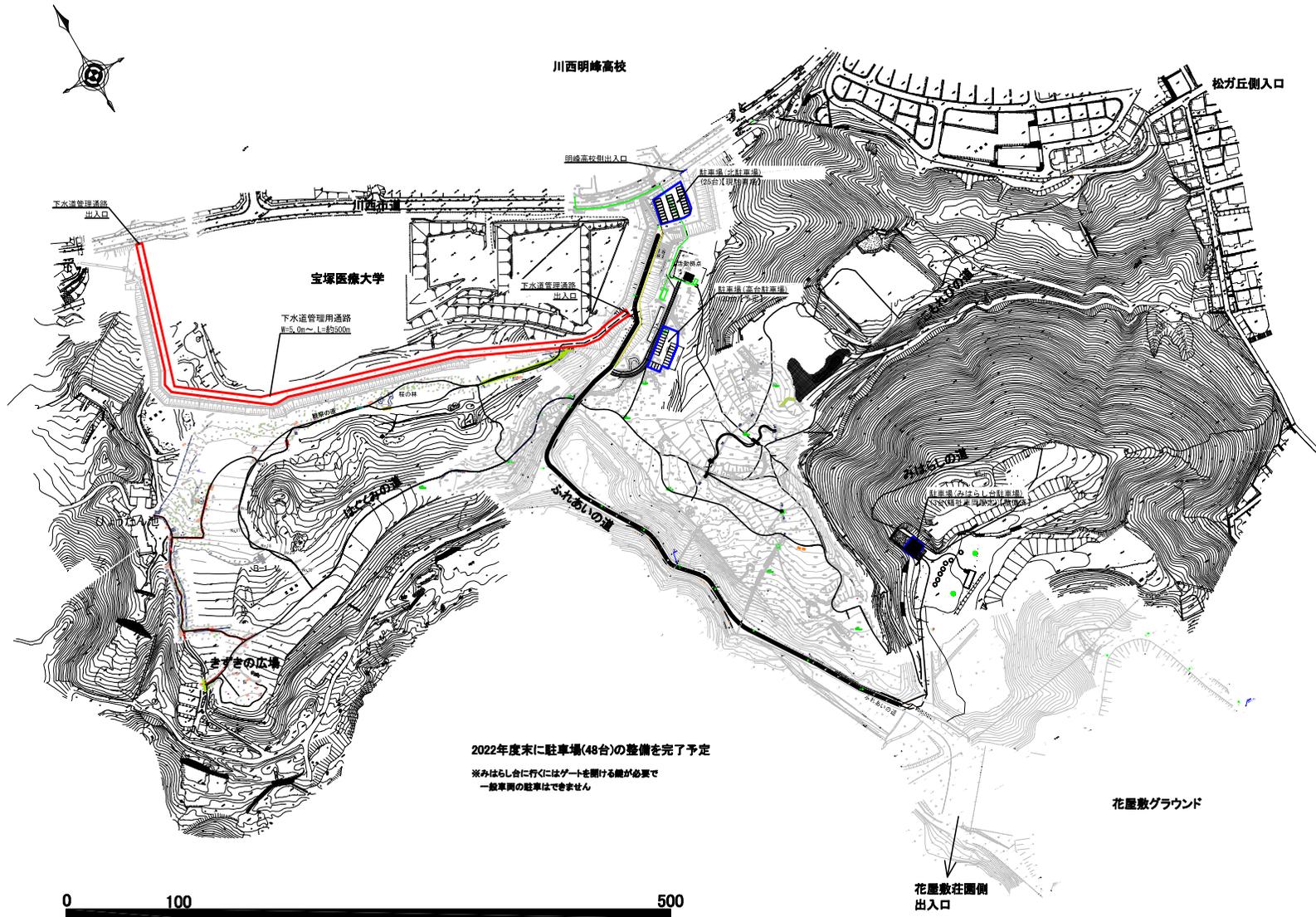
（イ）花屋敷グラウンド等の利用者は、花屋敷荘園側を車両通行せず、きずきの森北側に駐車し、きずきの森の中を徒歩等での移動とすること

（ウ）（イ）に伴い、花屋敷グラウンド周辺の駐車場（70台）が利用できなくなるため、きずきの森北側にある、上下水道局の管理道路を利用し、駐車場を増設してほしい

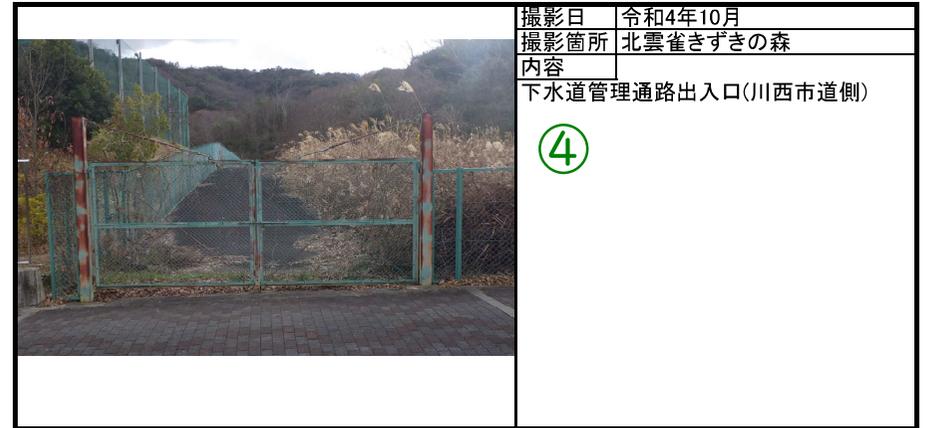
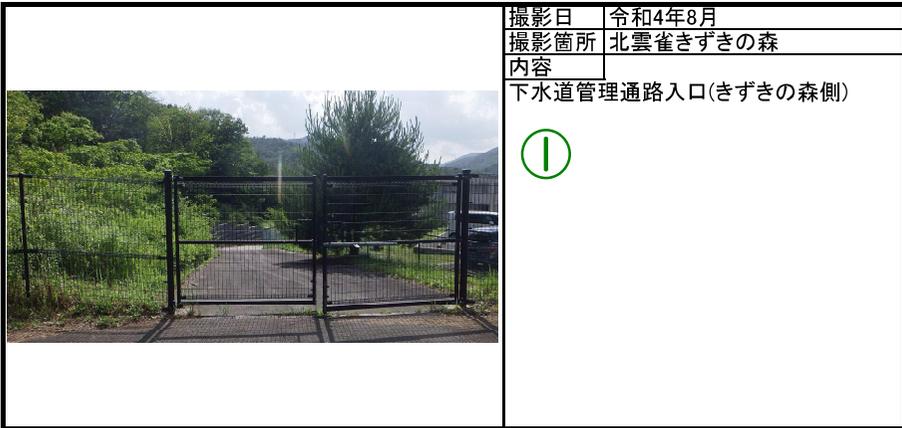
工. 対話の結果、以下のとおり、今後の方向性が共有された。

- (ア) 花屋敷グラウンド周辺の一体的な活用を促進するためには、①花屋敷荘園住民の安全、②きずきの森の自然保全、③きずきの森利用者の安全を守ることと併せて、花屋敷グラウンド利用者の利便性についても考慮することも大切であること。今後、花屋敷グラウンド周辺整備基本構想（案）の内容の見直し・成案化を行う際には、上記の点を踏まえつつ、地域と市で、意見交換をしながら、進めていく必要があること。
- (イ) 花屋敷荘園住民の安全対策については、根本的な解決には時間が必要となるため、まずは、乗り合わせ等による車両通行量の減少や利用者のマナー向上を一層推進すること。具体的には、指定管理者を通じ、花屋敷グラウンド利用者への更なる呼びかけ及び体育協会・学校への利用時のお願いの周知を図っていくこと。

北雲雀きずきの森緑地 全体平面図



北雲雀きずきの森緑地	
宝塚市 切畑外 地内	
全体平面図	
図示	
宝塚市	



※ 赤囲みの道路は、下水道課管理道路のため、一般車両の通行はできません